

## 県立宮崎病院再整備の進捗状況について

### 1 経緯

- (1) 県立宮崎病院は、改築後32年が経過し、施設の老朽化・狭隘化が進んでいることや、災害対策の強化、診療機能の向上など様々な課題を改善するため、早急な再整備が不可欠な状況
- (2) 平成24年度から検討を重ね、平成27年3月に全面改築を行うこととした「県立宮崎病院再整備基本構想」を策定
- (3) 平成27年6月議会にて、県立宮崎病院改築工事基本設計業務に係る債務負担行為を設定
- (4) 平成27年10月、公募型プロポーザルにより基本設計の設計者を選定し、契約を締結

### 2 基本設計業務の契約締結

#### (1) 契約の内容

契約の相手方

日建・コラム設計業務共同企業体

代表構成員 株式会社 日建設計（東京都）

その他構成員 有限会社 コラム設計（宮崎市）

契約金額

121,932,000円（消費税及び地方消費税を含む）

履行期間

平成27年10月16日から平成28年9月30日まで（約1年間）

#### (2) 基本設計業者選定の経過

設計者の技術力の評価及び手続きの透明性や競争性を確保するため、設計者から技術提案書を提出させる「公募型プロポーザル方式」により選定を行った。

選定委員

病院の意見を設計に反映させるため病院局長をはじめ7名の内部委員及び建築等の専門的な意見を反映させるため外部委員3名で構成

内部委員：病院局長、次長、宮崎病院長、副院長2名、看護部長、営繕課長

外部委員：大学教授(建築)2名、宮崎県医師会長

## 審査経過

年月日	内容	摘要
平成27年 7月 7日	第1回選定委員会	審査方法、評価基準等の決定
平成27年 7月 9日	プロポーザル公告	
平成27年 8月10日	一次審査 第2回選定委員会	参加表明6者の実施方針等を審査し、技術提案書の提出者(4者)を選定
平成27年 8月11日	選定委員会の内容を病院局入札参加資格審査会で審査し、4者を一次審査通過者に決定(技術提案書の提出を要請)	
平成27年 9月28日	二次審査 第3回選定委員会	公開プレゼンテーション及びヒアリングを行い、最優秀者等を選定
平成27年 9月29日	選定委員会の内容を病院局技術審査会、同入札参加資格審査会で審査し、最優秀者(委託候補者)、優秀者(次点)を決定	
平成27年10月16日	契約締結	

### 技術提案書のテーマ

- ・ 医療環境、医療技術の変化への対応及び快適な療養環境整備に関する工夫
- ・ 災害時にも継続して医療機能を提供するための防災機能に関する工夫
- ・ イニシャルコスト及びランニングコストの縮減に関する工夫

### 契約相手側の技術提案書の主な特徴

- ・ 1フロアを4病棟化し、病棟を3フロア減  
病棟3フロア減により生み出された「ゆとり」を診療部門や将来の機能拡張スペースとして活用
- ・ スタッフステーション一体化や1フロア4病棟化により、スタッフの連携強化、業務効率化を図ると共に、看護単位の可変性など医療環境の変化に対応
- ・ 外来患者の動線を回遊化することでわかりやすさと診療効率を向上
- ・ 水害に対応するため敷地レベルを2段階かさ上げ

### 契約相手側の技術提案書の評価

契約相手側の提案は、将来の機能拡張への配慮や、患者・スタッフの負担軽減を考慮した機能的な部門配置計画、災害時の機能維持に関する計画等、与条件一つ一つに対し丁寧な提案がなされており、総合的に高い評価を得た。

### 3 基本設計の進め方

- Step 1 与条件整理、階構成・ゾーニングを決定 (H27.10～ H27.12)
- Step 2 部門ごとの面積・配置や病棟計画を決定 (H28.1～ H28.4)
- Step 3 部門ヒアリングを行い平面計画、設備仕様を決定 (H28.4～ H28.8)
- Step 4 基本設計まとめ、設計成果物作成 (H28.8～ H28.9)

### 4 再整備全体のスケジュール

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
基本設計	→							
実施設計		→						
建築工事				→				
竣工・移転						→	開院	
解体・改修・外構							→	

#### 【イメージ図】

